

魚津三太郎塾 ポスター集

第3期

(平成25年11月～26年8月)

平成26年8月6日作成

企 業 名

提案者(塾生)

魚津水族館

不破 光大

魚津漁業協同組合

濱多 一徳

魚津市農業協同組合

高縁 大

新川森林組合

原 敬志

(有)フラワーセンター館

館 哲也

(有)大野商店

大野 慎太郎

はせがわ珠算教室

長谷川 妙子

川原・吉島保育園

坂本 真也

アシステム税理士法人

深川 誠一郎

(有)コンポスト

島澤 達也

大人だって
遊びたい!!

水族館サポーターになろう!

魚津水族館
学芸員 不破光大

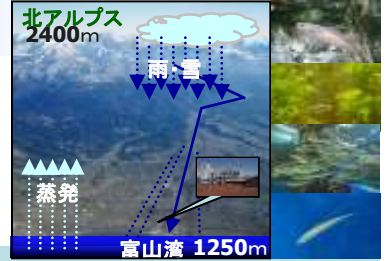
水と魚の遊び場

魚津の水循環といえば・・・魚津水族館!

魚津の水循環と魚津水族館

高い山から深い海、「富山の高低差4000m」の縮図といえる魚津市は、水循環全体を見渡せる世界でも稀な地域です。

魚津水族館は富山の魚を見せて1世紀の歴史があります。見るだけでなく「水族館を使ってほしい」と思い、サポーター制度の導入を考えました。



課題

- 水族館：富山の自然・生物を中心に展開 ⇒ 展示・教育普及だけでは伝わらない
⇒ **水族館活動に参加してほしい**
- 市民：富山の自然に興味・関心はある ⇒ ネイティブ：自然が当たり前すぎて価値に気付かない
ビジター：体験する場（きっかけ）が少ない

市民が求める水族館とは？

水族館サポーター結成! ⇒ サポーターになって魚津水族館をフル活用しよう!

魚津水族館流サポーター

- ・ボランティアではなく、**自発的な支持者・サポーター**
- ・**開かれた水族館**として、魚津水族館や職員を活用したい人の参加
- ・自主的に活動する大人の**遊び場&交流の場**
- ・**理想的な水族館**を実現する場（サポーターは来館者と水族館のかすがいに）

例



地域の〇〇博士



お母さんダイバー



イベントの提案



先生も学べ

豊かな自然 & 趣味や夢が材料!

水族館を「自然と遊び、学び、伝える」場に!

市民の力を発揮できる場として

見る水族館から市民がつくる水族館へ

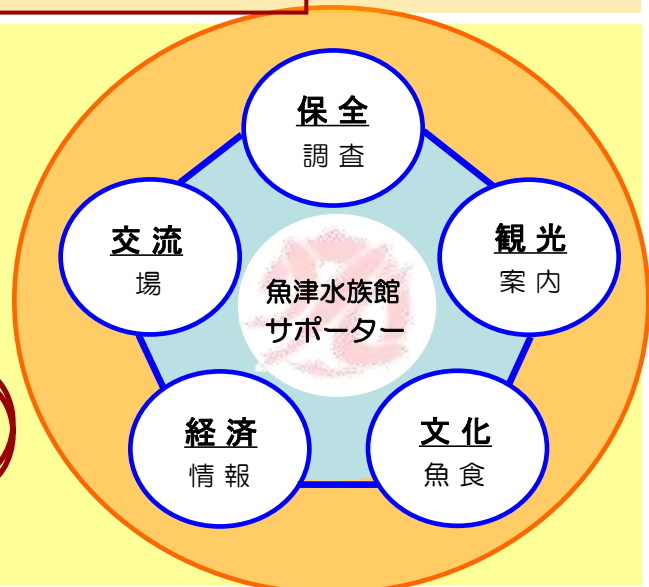
サポーター導入後の将来像

- 保全：野外調査 ⇒ 情報集積 ⇒ 環境教育 ⇒ 郷土愛
- 交流：交流の拠点 ⇒ 人が集う場 ⇒ 賑わう
- 観光：案内人増加 ⇒ リピーター増加 ⇒ 館活性化
- 経済：情報発信（遊ぶ・買う・見る）+ 企業サポーター
- 文化：魚食文化体験 捕る ⇒ さばく ⇒ 食べる

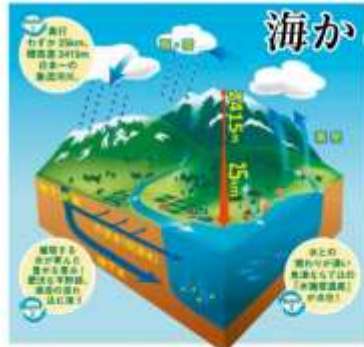
目指すは市民参加型水族館!



地域活性化の拠点!



海からの恩恵に感謝し、この海を次世代へ伝える 「高低差4000メートル」



魚津の沿岸には黒潮の支流である対馬暖流が流れ込み、国の特別天然記念物に指定されているホテルイカ群遊海面があります。僧ヶ岳・毛勝三山の山頂は北極圏に酷似した環境が存在します。海岸線から山岳地帯まで約25キロ未満でその特異な高低差や地形を有することから、様々な高山植物や多様な生物・海底生物を観察することが出来る環境を有しております。その中で「水産業」は、国民に良質のタンパク質を提供する使命を担っている産業であります。

魚津漁協は平成16年に国内初の**高度衛生管理型市場**を建設・導入し、平成25年に**優良衛生認定市場**の認定を受けました

●漁業は発泡箱など石油製品の利用率が高い。(発泡箱は2013年実績175,000箱/一日@580箱)

発泡箱の行く先は…

- ①二次利用→物入れ・土砂入れ
- ②回収→熱処理→固形→再生リサイクル
- ③放置→浮遊ゴミ～海洋汚染～越境汚染



↑
浮遊ゴミをなくし環境景観を良くしたい!

提案できること

- ①環境・水循環を意識する
- ②石油製品から環境配慮型へ転換

機能性(耐水)ダンボール箱導入

デメリット		メリット	
段ボール箱の組み立て作業や使用時の煩雑さ	漁業者	魚津の漁業者が環境への配慮を意識していることで他市場との差別化を図れる。	魚津の漁業者が環境への配慮を意識していることで他市場との差別化を図れる。 段ボール利用は水産加工出荷業務での応用も可能であり企業価値の向上や存続への一助となる。 段ボール利用を支援協力することにより、魚津の水産業全体が「環境配慮」に取り組み姿勢をPRでき、買い受け企業の価値を高める。 環境景観の改善に繋がる取り組みとして、環境配慮志向の市民の関心を満たす事が出来る。
発泡箱販売や製氷販売が微減	漁協	段ボール利用は水産加工出荷業務での応用も可能であり企業価値の向上や存続への一助となる。	
発泡箱と段ボール箱の処理が煩雑になる	買受人	段ボール利用を支援協力することにより、魚津の水産業全体が「環境配慮」に取り組み姿勢をPRでき、買い受け企業の価値を高める。	
	市民	環境景観の改善に繋がる取り組みとして、環境配慮志向の市民の関心を満たす事が出来る。	

共通の価値創造CSV

生産履歴のついた環境配慮型鮮魚出荷箱の開発

発泡箱 と 段ボール

適材適所で使い分ける
生産・利用・回収・運搬に係る企業名を印刷。
環境配慮をPRし企業価値の向上に利用。

地域の展望

次世代連携を意識した
魚津の縮図として連携協定を結ぶ



今後の展開

NPO法人や協議会の立ち上げを目指す。

■段ボールの特徴を生かし、
企業の得意分野を集めて連携・循環



試験導入への手順

協力してくれる漁業者に使い分けて頂き
鮮魚出荷 (一日580箱の1割60箱目標)

↓
魚商人には使い勝手ヒアリング

↓
段ボール会社と材料・規格の調整

↓
試験運用

水循環保全型農業と認証制度

～水を守り、生命を守り、地域を守る農協～

魚津市農業協同組合
高縁 大

魚津の農業の現状と課題

- ・稲作中心の農業
主力品種「コシヒカリ」の品質の不安定化
産地評価の低下(食味で「特A」が取れない)
限られた水資源の有効利用の問題
(耕作放棄地の発生による貯水機能の低下)
(水管理の重要性の拡大)
- ・果樹・野菜は産地としては小規模で販路が限定
- ・担い手不足・後継者問題
- ・平成30年度の農政改革対応→喫緊の課題
(米の生産調整見直しによる産地間競争激化の危険性)

その対策として

他産地にはない特色をもった有利販売⇒認証制度の創設

魚津の水循環

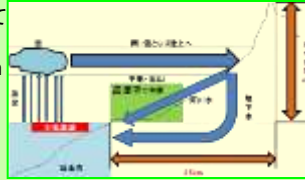
「地理的表示法」の成立等、社会からも地域ブランド化が求められている

魚津の水循環の保全・有効活用につながる栽培方法を認証し、農産物にマークをつけて有利販売(認証案)

- ・「魚津の水循環」をテーマに作られた肥料を規定量以上散布して作られた農産物
- ・国の「環境保全型農業直接支払」において、水環境の保全・向上につながるのとされた農業手法で作られた農産物(C/N比10以上の堆肥散布・冬季湛水)
- ・その他各集落条件において有効とされる手法

世界の縮図・・・魚津の水循環

富山湾には赤道直結の対馬海流が流れています。水は蒸発、雨や雪となって山に降ります。毛勝三山山頂部の標高2,415mを緯度に換算すると北極圏に相当します。いわば赤道から北極までが僅か25kmに凝縮された環境が魚津なのです。世界の縮図というべき環境の貴重な水が森林を経、里山・平地から富山湾へと循環しています。



里山や平地でこの循環の恵みを利用し、育まれているのが農業です。農業は最大の利用者であると同時に、水田による貯水や景観の形成によって、水循環の一役を担っています。



先人たちの知恵・円筒分水槽

実践に向けて

農協内部での
学習会・検討会の
実施(26年10月以降)

外部有識者を含めた
認証機関の設置
(27年10月頃)

農家への啓蒙活動
農家の実践活動

(遅くとも
29年4月には)
本格運用

目指す方向

認証制度の運用(案)

- ①農家・生産団体から営農計画書の提出→内容を精査
- ②認証要件をクリアすると判断された場合、認証
- ③販売開始後も、栽培履歴およびGAPを利用し内容確認
- ④確認後に不備があった場合は認証取り消し(ブランドの価値を維持・向上させるため)
- ⑤1回の認証期間を3年とし、更新時も審査を実施

- ①有利販売による販路の確保・手取単価の上昇
- ②農家所得の上昇で後継者を育成
- ③平成30年度の農政改革後も生き残る「産地」に



園芸生産の後継者
島澤耕平氏

副次的に「魚津の農業」の価値がさらに向上し、農産物の価値も向上するよい循環が生まれる。
消費者も確実に魚津の特色をもった農産物が入手できる。

地域農業を守るJAの青壮年部活動

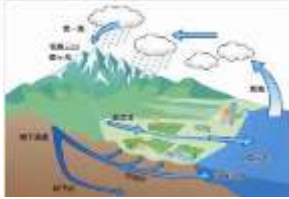


魚津の水循環は世界の水循環

魚津市は海から山頂まで直線で約25kmの間に標高約2400mまで一気に駆け上がるとても急峻な地形になっていて、通常世界単位で行われている水の循環サイクルが一つの市で完結できるのはとても珍しい。

この中で暮らしている我々魚津市民は、特に水に関してとても多くの恩恵を受けている。川や地下水からは生活・農業・工業用水の資源として、さらに深く潜った地下水は20年の時をかけて栄養の豊富な海底湧水として海洋生態系の繁栄の基礎となっています。

この水資源は魚津市民の生活にとっても重要な要素となっていて、山・川・地下水・海底湧水、このどれか一つでも欠けてしまうと我々の生活に多大な影響が出てしまいます。



間伐の重要性

近年環境問題への関心が高まっている中で、水の循環を考える際切っても切り離せないのが私たち森林組合が携わっている**森林環境の保全**ではないかと思えます。森林が整備されないまま放置されると、育った木の枝が邪魔をして地面に光が届かなくなり、下草が生えず、地面がむき出しになり、水を蓄える力が失われ、雨が降ったとき**土砂災害の原因**にもなります。



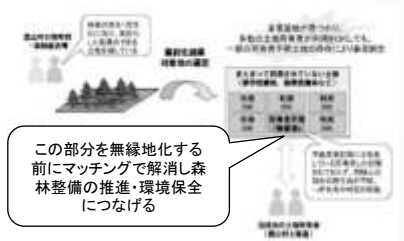
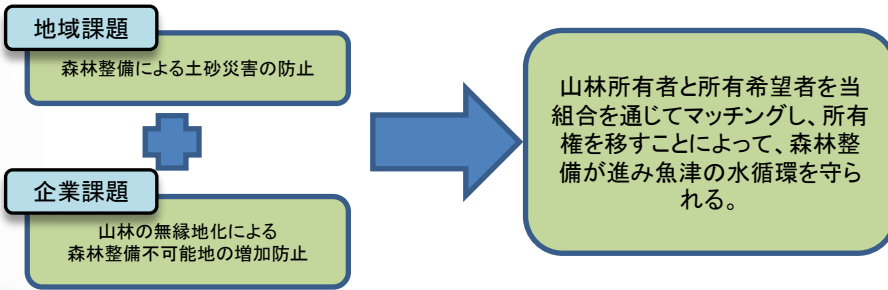
森林整備の課題

森林組合が山を整備する際、**山林所有者からの承諾**をもらわないと整備することができません。

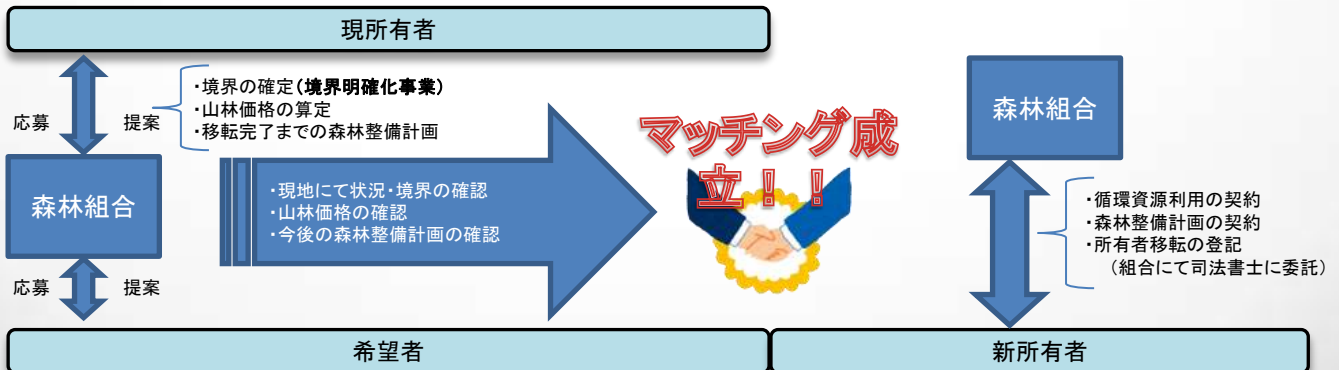
ここ数年、所有者の不明化により承諾をもらえず、森林整備ができない山林が増えています。

所有者不明化の原因として、近年の山村地域の過疎化により、**家が絶えてしまった**り、後継者が決まらないまま何代も相続登記がなされず不明になることがあります。このような状況が続くと森林の整備が滞ってしまい、**健全な山が維持できなくなってしまう**恐れがあります。

課題解決に向けて



マッチングの流れ



森林は魚津の水循環における血管の一部であり、この事業を通じて人の循環を創り、森林環境を復活・保全します。



魚津で育った「TACHIブランド雪割草」の認知度の向上と販売拡大



魚津の水循環・・・標高・海底の高低差4000メートル。世界的にも類を見ない環境に抱かれた贅沢な生活環境。
→ 誰もがうらやむ魚津の街で、その商品をつくりたい。

「雪割草」とは・・・



- ・雪解けとともに咲く、多彩な色・形をもった里山の山野草。新潟、富山、石川に多く分布。
- ・かわいらしく、可憐であることから「春の妖精」とも呼ばれている。
- ・山野草の中では、栽培しやすく、現在、最も人気のある商品の一つ。
- ・15年前までは、自生地の雪割草の販売が主体。このため、乱獲や盗掘により、自生地は激減している。魚津市にも希少な自生地が残るのみ。
- ・現在は、種から育てた園芸種が流通の大半を占める。種をまいてから開花まで3年以上かかる。
- ◎花屋にお客さんの来店が一番少ない2月から3月に開花する植物のため、「雪割草」自体の認知度はまだまだ低い。

当社「雪割草」の強みは？

- ・魚津の自生地に近い里山で伏流水、海・山からの涼しい風など「魚津の水循環の中で育った健全な商品」。
- ・他社が持たない親花の交配により、当社のオリジナル性が出しやすい。
- ・種から育てた商品には、同じものが無く、すべてがオンリーワン商品。
- ・希少価値のあるマニア向けの花から、一般消費者向けの花が作り出せる。
- ・花を觀賞するだけではなく、お客さん自らが、交配して、新しい花を創り出すという楽しみ方も最近増加。→親花の販売が増加。

現状と問題点は？

- ・一時的なブームは、落ち着き、マニアの購買量は低下している。
- ・商品単価は低下傾向にある。
- ・一般の購買層に「雪割草」自体の認知度が低い。まだ未知数の購買者が眠っている可能性がある。
- ・販売スタイル(ビニールポット)に特徴や工夫がなく、販売拡大に結び付いていない。
- ・現在でも、自生地から心無い採取や盗掘がある。
- ・里山に人の手が入らなくなり、植生が変化し、雪割草が消滅するかもしれない。

「TACHIブランド雪割草」を使った環境配慮型の商品開発

新商品

「魚津の妖精」

(11月末～発売予定)



・魚津の間伐材の端材を利用した「魚津の森の守り鉢」(新川森林組合と共同制作)に入れて販売。

- ・当社交配の園芸種のオリジナル雪割草のみに使用
- ・木の持つ温もり・おしゃれさを感じてもらい、新たな客層にアピールし、園芸品種の販売拡大

「里山を守る」→「魚津の水循環」を守る。

- ・盗掘や里山の手入れの遅れからの自生地の保全
- ・売り上げの一部は、里山の整備のために利用。

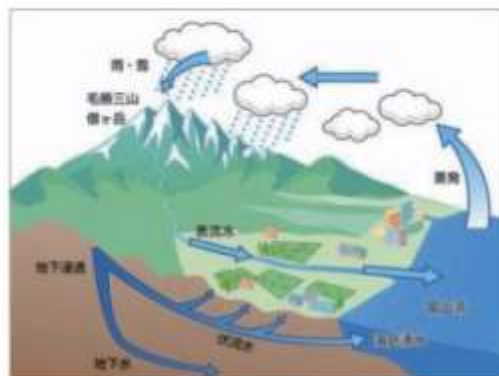
見込める成果: ①商品のブランド化を確立、後継者を確保し技術を伝承、②魚津の環境のPRと配慮、③当社の売上げの増加

水循環 de 魚津を世界へ！！

魚津三太郎塾 3期生
有限会社 大野商店 大野慎太郎

水循環とは…？

2,415 kmの高さから約 25 kmの距離で流れ落ちる急流河川。魚津市は特殊な地形が生み出す水の循環とそれに育まれた豊かな自然に恵まれた地域です。
世界初の群生が発見されたオオクチホヤが見つかったのも富山湾！ 雲気楼が見える、埋没林が残っていたことも魚津ならではのこの立地が起因します。



事業提案！！

～このすばらしい立地を生かした地域創造ビジネス～

＜テーマ＞水循環のすばらしさ＝他地域にはない付加価値を感じてもらい、地域連携することによる新しいビジネスの創造・コラボレーションと目指す。

水循環を軸にした事業を各方面で展開する事業者としての企業としての新しい展開をしていく。

取組み事例！！

新川森林組合 × (株)河合楽器 × 水循環
にいかわの間伐材を全国の子供たちが使う楽器に！



森林組合→新川の間伐材を使用、新川の木の実験、周知。
河合楽器→手作り、木材、国産の需要。地域との連携のメリット。
大野商店水循環事業部→双方の連携サポート、双方に利益のあるようにコーディネートしていく。10個売れる毎に植樹する。

全編や県、市とのPRの連携サポート、間伐材を使った楽器でのアーティストによる音楽イベントなどを今後実施予定。

※現在は集成材を使用している。定価29800円。間伐材と森林組合の技術提供で安価にでき、KOROGI社などの世界企業との連携により、水循環を知ってもらうきっかけも作れる。

目指す効果と展開

魚津の名前を世界に！！水循環を世界に！！

6月1日に東京都の浜松町で新事業展開の為、大野商店の東京営業所をオープン！
これにより、関東方面での水循環を起因としたコラボレーションビジネスを展開。
現在は魚津漁協からの魚やハマオカ海の幸を中心とした富山湾の干物を水循環を付加価値として関東近隣の料亭や居酒屋に卸している。
各方面の事業連携を水循環をひとつのテーマにし、説明することで新しいビジネスとなる。
水循環を知ってもらい、「魚津」を世界中のヒトが「知ってる！」地名にすることが有限会社 大野商店の最終テーマです！！

ママの元気は魚津の元気

お母さんの「あったらいいね！」で新しいそろばん教室

はせがわ珠算教室 長谷川妙子

魚津の水循環

魚津市は、海拔 0m から標高 3,000m 級の山々までが、奥行きわずか約 25km で、大変急峻な地形から成り立っており、この地形は海まで続き、水深 1,000m まで達しています。世界の陸間ともいえる魚津の水循環によっておいしい水、空気、米、魚、野菜など様々な恩恵を受けているのに、当たり前すぎて、そのことに気付かずに生活しています。



子どもたちに魚津の魅力を感じてもらい、水循環に興味を持ち、水循環を守り、維持していく大切さを伝えていく必要があります。魚津の水循環を知ること。それが、少子化対策の一つとなればと考えます。

お母さんの悩み解決！

子供を習い事に通わせる事によって、大半の家庭では、母親の負担が増えます。そんなお母さんの悩み事はというと・・・

通勤時の安全面が心配・・・
遊ばせて、買物して、夕飯の準備も・・・
時間が足りぬわ～！！

子どもはゲームばかり・・・
もっと自然と触れ合って
外であそんでほしいわ～！

英語も習わせたいけど、
そろばんも習わせたい・・・
費用も時間も足りぬわ～！！

そんな悩みを、そろばん教室が解決！！

提案 その① 農業・漁業体験 ができるそろばん教室！



生物多様性への関心、理解 → 作った野菜で食育、豊かな心の育成

新川森林組合の木工教室、尺の単位への変換計算問題
魚津水族館のお魚に関する計算問題 などなど

提案 その② 英語が学べる そろばん教室！

- 英語読みあげ算(数字の英語を聞き、そろばんで計算)をすることによって、ヒアリング力が身につく
- 英語と組み合わせることで、習い事の時間と費用の負担が減る



提案 その③ 商店街 にそろばん教室！



- 商店街の人が見守り隊となって、防犯面で安心
- 送迎時についてに買い物もでき、時間の節約
- 地域の方との情報交換の場、地域みんなで子育て！

その後の展開

- 高齢者痴呆予防、頭の体操教室(午前中の時間活用)
- 赤ちゃんとママのリフレッシュ&交流の場
- 高齢者と子供達のふれあい遊び(お手玉や、読み聞かせなど)
- 地元の高校生とのコミュニケーションの場(英語遊びなど)
- イクメンの料理教室&子育てアドバイス
- 習い事の時間がママのリフレッシュタイム(ネイル、マッサージなど)

今どき、そろばん？

昔から「読み 書き そろばん」この3つが教育の根本を成すものと言われてきました。

そろばんは、計算力、集中力、忍耐力、直感力、記憶力、想像力、正確性、機敏性が育つなど、とても優れた計算器具です。

機械に頼りすぎる現代では、人間が本来持っている能力が低下してしまいます。

そろばんの練習が、左脳・右脳をバランスよく発達させることが科学的に証明されています。

そろばんは、頭を鍛える最強の習い事です。昔は、単なる計算能力の向上、資格の為のそろばんでしたが、今は、右脳をはじめとする能力開発ツールとして認められつつあります。珠算界も少子高齢化がすすみ、少子化対策をすることによって、指導者の高齢化、後継者不足を解消していかななくてはなりません。



習い事の現状

子供に習わせたいランキング		子供が習っているランキング	
1位	英語・英会話	1位	水泳
2位	水泳	2位	ピアノ
3位	書道	3位	英語・英会話
4位	ピアノ	4位	リトミック・体操
5位	そろばん	5位	学習塾
6位	学習塾	6位	書道
7位	ダンス	7位	サッカー
8位	リトミック	8位	ダンス
9位	サッカー	9位	その他スポーツ
10位	空手	10位	そろばん

ちなみに、ママがやってみたい習い事は？

1位	英語
2位	ヨガ・ピラティス
3位	家庭料理
4位	お菓子
5位	パン

そろばんに習わせたい親が多いけれど、時間、費用、子供の興味関心などの面からか、実際習っているのは10位に下がっています。

※ 全国の習い事に通う小学生以下の子供をもつママ 412 人に聞いた「ケイコとマナブ 子供の習い事アンケート2013」より



将来像

- 子供達が魚津の魅力を感じることにより、もっと魚津が元気になる
- 商店街が子育て支援の場になればママも元気に、そして魚津がもっともって元気になる
- 商店街を中心に、子どもから高齢者まで世代を超えて、良好なコミュニティを形成できるコンパクトなまちづくり

魚津が大好きな子どもたち！&大人も学び集まれる、

地域に開かれた寺子屋ほいくえん



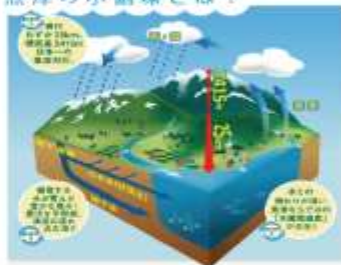
川原保育園 坂本真也

川原保育園の特徴

1. お寺と一体の保育園（開園66年目・2014年現在）
2. 小規模（園児56人）→目が届く保育
3. 保育の内容（森のほいくえん、めだかのピオトース、エコ活動）



魚津の水循環とは？



魚津市は、最高0mから標高2400m以上の山岳地帯までが、横行きわずか約25kmに収まる大変急峻な地形から成り立っています。この地形の中、山岳地帯で降った雨や雪は、川や地下水となって扇状地を流れ、富山湾に注いでいます。そして海へ帰った水は、蒸となって雨や雪となり、再び大地に降り注ぎます。魚津市では、このような水の循環システムがひとつのまわりで完結し、その循環を一旦で見逃せるという、「自然界にも稀な地形」をしています。このような特性を「魚津の水循環」と呼んでいます。魚津の海と大地をめぐる循環の中で作り出される水は、優れた水質と豊富な水量をもっています。そして、水はただ循環しているだけではありません。水は森を育み、森の栄養を選び、川や湖・里に生きる様々な生物を養い、そして私たちの生活や産業を支えているのです。

現状と課題

【園児】園児は水族館や森には行っているが、魚津のいいところ、全てを体感しているわけではない。

【保護者】子育て、人間関係に悩んでいるお母さん方がいる。学ぶ場が少ない。

【地域】地域の方たちが保育園に遊びに来られる機会が少ない。（だんごまき、夏祭りバザーの、年に二回ほど）



そこで!

新たな2つの取り組みを考えました。



1. 魚津の名所を巡ります！

機動戦士かわはらっこ

～水循環など、魚津の良さを知っている子どもたちに～



〈見込める成果〉

- ・子どもたちが、水循環を始め魚津の事を良いところを知り、魚津の事が好きになる。魚津の水循環を守っていこうと思う。大人になっても、魚津に住みたいと思える子どもが増える。
- ・活動をFacebookやブログ等で発信することにより、それを見た人が、魚津の良さや水循環を知る。より魚津を好きになるきっかけとなる。
- ・このような活動をしている保育園として認知され差別化より選ばれる保育園に。

2. 大人も学ぶ! 集まる!

地域に開かれた寺子屋ほいくえん

- ①子育て、より良い人間関係を築く、などの講座を定期開催
- ②保護者はもちろん、地域の人も参加できるお茶会、座談会を定期開催



〈見込める成果〉

- ・子育てや人間関係を学ぶ事で、子どもや周りの人との、より良い関わり、人間関係ができる。
- ・大人の学び場、集いの場となる。
- ・地域の方が集まれる場となる。



うおづ会社バトタッチ支援センター

魚津に会社が無くなる

近年、全国で地方事業所の廃業・倒産が拡大しており、日本全体では過去10年で事業者数は100万件減少してします。

魚津も例外ではなく、過去5年間で、魚津の廃業数は開業数の2.7倍！全体の13%にあたる会社が、この5年間に廃業しました。

経営者の後継者不足

地方中小企業では経営者の高齢化、身内の後継者不足が進んでいます。

後継者不在の中小企業数は全国39万社のうち26万社と67%の会社がこの問題を抱えています。また、先代経営者と後継者との関係も年々変化しています。

かつては、親族内承継が9割以上を占めていたのに対して、近年では親族内承継が6割まで減少してきており、親族内での後継者の確保が困難になってきています。

失われる雇用と技術

地方の中小企業の後継者不足は維持・伝承されるべき雇用や技術が途絶えてしまうという重大な危機に直面してします。

魚津の製造業は過去5年で2,000人近い雇用が失われました。過去20年では…水産業▲65%減、農家数▲43%減、商業▲18%減とあらゆる業界で事業所数が減少。

会計事務所業界に 忍び寄る危機

関与先企業の経営者の高齢化が進み後継者問題を抱えるお客様の状況は年々深刻化しています。

数年後には、都市部から低価格事務所や大型事務所が魚津に進出してくることが想定されます。

メイドイン魚津が無くなる

魚津の生活循環が変わると水循環が崩壊

魚津で働く人がいなくなる…

魚津の産業・技術がなくなる…

魚津に漁師がいなくなる…

魚津のお米が食べられなくなる…

魚津の森がなくなる…

魚津の会計事務所が
魚津の伝承されるべき
産業や技術を守ることは、
魚津水循環を守ることに
つながると思う

うおづの会社を守るために！

お悩みじゃないですか？



お悩み中

そろそろ引退したいけど、ワシが辞めたら、会社はどうなるの？

- ◆後継者がいない。誰に任せたらいいの？
- ◆従業員のためにも、事業は継続させたい
- ◆借入金が残っているが、このまま事業を引渡せるのか
- ◆第三者の支援を受けて、会社のノウハウを活かしたい
- ◆将来の後継者となり得る人材を探したい

後継者がいないんじゃ…

解決できないと思い込む前に！

事業承継の5つ選択肢

親族内承継

従業員からの登用

外部からの雇入れ

M & A

水循環を活用した新事業の展開

魚津の会社が元気になるヒントが水循環にあります。環境意識の高まりや技術革新から水利事業の可能税が広がり見せています。

ご相談ください

水循環を活用した新事業展開が、バトタッチの一步

魚津水循環を学んだ魚津三太郎塾の卒業生3名が、あなたの会社と水循環の結びつきを見つけ出し、あなたの会社にあった水循環へのアプローチをサポートします。

【事例：ある飲食店のお話】

後継者の息子さんが水循環メニューを考案して“食”を通してプロジェクトを開始。会社はますます元気になってます！

うおづの未来のために！

魚津の「雇用の場」を守る

魚津の会社が元気になり、魚津で働く人が、魚津で生活する環境を守ることは、水循環を支えている。

水循環は生活循環の象徴である。

魚津の「地域産業」を守る

魚津の地域で水循環を生かした新たな産業創出は、地域性をよく知る地域密着型のサポートが不可欠である。そして、事業承継もまたじっくり腰を据えて相談できるサポートが不可欠である。

「道の駅」誘致を提唱する 高低差 4,000m Story

魚津三太郎塾

三期生

島澤 達也

地域の課題と今後へ向けて

間近に迫った新幹線開業や高規格道路の開通を迎え、市内の観光関連事業の充実が必要。今後増加する交流人口へ、

食・人・環境をPRし魅力ある新川の情報を発信する

「道の駅」誘致を計画します。

魚津市は900室以上の宿泊施設を備え、駅前の夜型飲食店も充実。拠点型観光や団体から個、ドライブスタイルなどの観光スタイルの変化に対応し、休憩スペースや又地域の情報発信施設としての「道の駅」の機能が今後のニーズに応えるでしょう。

当社はこれまで、商業施設の設計施工を手がけ、様々な施設の運営についてレイアウトやデザイン、施設の使い勝手などの面でご提案させていただきました。また近年、飲食店及び菓子販売業を営み、商品の特性や顧客満足度の充実等といった施設の実質的な運営面に関しても実績を積み上げて来ました。

魚津三太郎塾で学んだ、CSV（企業価値と社会的価値の共存）そして高低差4,000mがもたらす水循環が生み出す価値（環境・素材・文化）を「道の駅」開業に向けて考えていきます。

「道の駅」とは

全国で1,004駅全体で3500億円の売上(2013年)
道の駅には

- ①道路利用者の休憩スペース
- ②地域の情報発信施設
- ③地域連携

といった役割があります。道路管理者によって設置され運営面においても国道への誘導サイン整備や、ネット等による情報発信といったサポートが受けられます。しかし施設の性格から観光のみにスポットを与え、継続が難しい場合もあります。今後は地域に必要とされる施設を目指し地域の価値をPRしていく事が重要です。

道の駅



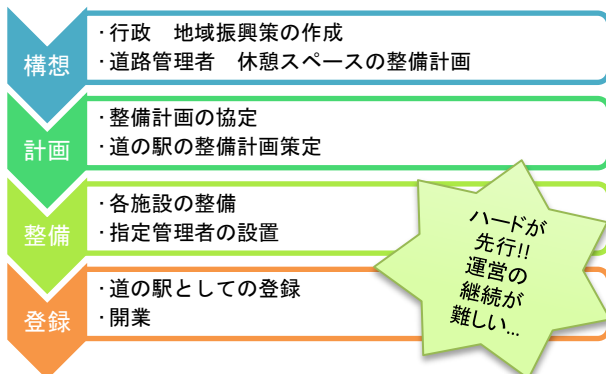
地域
経済の
活性化

地域
雇用の
創出

地域
情報の
発信

ローカルビジネスプラットフォームから運営主体へ

道の駅設置手順



提唱から構想そして運営主体となる事が大切!!

運営に大切なソフトの充実を図り、提唱の実現性を高め誘致を進める実質的な主体となる、ローカルビジネスプラットフォームを作ります。

ここで様々なワークショップを重ね、今後求められる「道の駅」を学びます。道の駅のあるべき姿を学び、提唱し、誘致に主体的に取り組みます。誘致後は、その運営に携わり、地域からの情報発信に努めます。

しかし農産物、海産物の直売所だけでは、観光関連ビジネスになりにくく、観光施設としての利用は、観光地としての集客が貧弱で通年の営業が難しい事が予想されます。地域の住民に愛され道路利用者にも利用しやすく観光関連ビジネスに結びつく施設を目指していかなければいけないでしょう。

ローカルビジネス
プラットフォームの作成

ワークショップによる
「道の駅」のあり方を研修

行政を通して道路管理者
へ提言「道の駅」の誘致

「道の駅」を運営管理する
法人の立ち上げ

「道の駅」設置・運営

高低差
4000m
STORY

1
2
3
4
5
Year

環境に配慮し地域との価値観を共有する「道の駅」を目指そう

再生エネ
ルギーを用いた
施設作り

生産者との
連携
地産地消

サスティナブル
ツーリズム